

# 世界遺産 トピック

## 古文書から知る潜伏キリシタンの実像

「天草崩れ」の後、崎津村などの村民たちは、以後の信仰を改めること〴〵、信仰の対象であった信心具を余さず提出したことを証文として幕府に提出しました。幕府はこれらを加味して1年後に誰一人罰することなく穏便な処置を下しました。しかし、実際には、潜伏キリシタンの信仰はその後にも密かに続けられていました。

天草崩れから約60年後、長崎の浦上村の潜伏キリシタンたちがマリア像を求めて大浦天主堂（長崎市）を訪れました。これにより日本でキリスト教が「潜伏キリシタン」として残っていたことを知ったヨーロッパ人は「信徒発見」と呼び、大きな話題になりました。

明治時代になり信仰の自由が認められると、日本での布教に強い熱意を抱いていたパリ外国人宣教師会が主体となり、カトリック布教に尽力しました。天草には明治13年にポンヌ神父が来島し、今富・崎津などで布教に務めました。同17年には、ベルナルド・フェリエ神父が赴任し、大江教会・崎津教会を建立。信仰の拠点となる教会が完成したこと、さらにカトリック信者は増えていき

### その8 天草崩れ後も信仰を継続

ました。

そのフェリエ神父は赴任中、当時の崎津や大江のことを詳細にノートに書き記しました。その中で崎津村に関しては「家数600ばかりなり。そのうちゼンチョー50軒ばかりという。この村において水方あまた幾人と知らず」と記しています。（ゼンチョーとは禅宗。この場合は仏教徒のこと）つまり、崎津村600軒のうち、550軒が潜伏キリシタンの教えを守っていたということなのです。この他に大江村では900軒のうち仏教徒70軒、今富村では274軒に対し仏教徒33軒と記しています。この記録は、各村の大多数が明治時代まで潜伏キリシタンの教えを引き継いでいたことを物語っており、天草崩れの際に「信仰を改めた」という村人たちの証文が実は形式だけだったということを示しています。

天草の潜伏キリシタンが先祖から受け継いだ信仰をしたたかに、大切なものとして密かに守り続けたことで世界文化遺産登録へとつながったのです。



▲崎津神社横の旧崎津教会跡地



▶フェリエ神父の像（写真提供：奄美市立奄美博物館）



とどろはし  
轟橋（河浦町）市指定文化財

## 天草 見どころ図鑑

河浦町の今田川に架かる轟橋は下浦石を使ったアーチ式石橋。橋を支える橋台は、この付近にはほぼ水平に分布している砥石層の硬い砂岩を削って設置されており、露岩をうまく利用しています。また、この層には石炭が多く含まれており、近くの旭炭鉱などでは無煙炭と呼ばれる高品質な石炭が採れていました。

### ★見どころポイント

近くの轟公園内に設置されている展示板で「旭炭鉱」の歴史を知ることができます。

# 第2回 天草市 入賞作品決定！ 公式Instagramフォトコンテスト

心が動かされる「エモい天草」をテーマに、天草市公式Instagramでフォトコンテストを開催しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

応募作品447点の中から、皆さんの投票などにより受賞4作品を決定しました。

### 最優秀賞

## 「倉岳山頂 天空の夜明け」

### コメント

鳥居の先に広がる、海と天草諸島の美しい景色を想像して、ワクワクしながら着いてみたら、まさかの雲海。自分の想像をはるかに超える幻想的な光景に終始興奮しながら撮ってました。

一期一会の一瞬の光景を大事に、美しい天草を発見しに、また足を運んでみたいと思います。



アカウント名： yukigozen さん(熊本市)

### 優秀賞



「天主堂と天の川」 bearbook さん(天草市)  
街並みを見守るように静かに佇む天主堂

### 優秀賞



「守りたい笑顔」 cake.akamaki さん(天草市)  
思い切り走り回る子ども達に、大人も笑顔に

### 優秀賞



「幸せのSunset」 nikoniko.yuyu さん(天草市)  
散歩中、「幸せ」と感じた瞬間の1枚です

1次審査を通過した  
10作品を展示します！

とき 1/20(水) ▶ 2/14(日)

ところ ギャラリー四季  
(本渡中央商店街内)

問 秘書課 ☎24-8816